

令和8年第4回東京都北区教育委員会定例会

会議月日	令和8年5月11日（月）午後1時30分
開催場所	北区教育委員会室
出席委員	教育長 福田 晴一 委員 本間 正江 委員 宮川 淳子 委員 川 染 誉市 委員 長谷川 勝久 委員 高橋 勇市
事務局職員	教育振興部長 教育政策課長 学校支援課長 教育指導課長 生涯学習・学校地域連携課長

会議に付した議案並びに審査結果

日程	報告事項	報告内容	結果
1	16号	「保幼小交流プログラム」及び「保幼小接続期カリキュラム」の改定について	了承

日程	報告事項	報告内容	結果
2	17号	コミュニティ・スクールの推進について	了承

令和8年第4回東京都北区教育委員会定例会会議録

令和8年5月11日(月) 13:30

<p>福田教育長</p>	<p>それでは、これより令和8年第4回北区教育委員会定例会を開会いたします。 出席委員は、定足数に達しておりますので、会議は成立しております。 初めに、日程第1、報告第16号「保幼小交流プログラム」及び「保幼小接続期カリキュラム」の改定についてです。 教育政策課長から説明をお願いします。</p>
<p>教育政策課長</p>	<p>それでは、報告事項でございます。 お示しのカリキュラム、プログラムの改定についてというものでございます。 この2つの計画と申しますか、プログラム、カリキュラムでございますけれども、平成25年の3月に策定したというところで、かなり年月が経っているという状況でございます。 そこにお示しのように、新たな学習指導要領、それから幼稚園教育要領、これの改定がされるというところございまして、こうした国の動向を見据えまして、これらの改定を取り組んでいきたいというものでございます。 2番のところ、どの範囲に改定していくかというところは、今後の検討会とのご相談というふうになりますが、現行の冊子でございますけれども、具体的な週案等を盛り込み、かなり詳細で緻密なものになってございます。 中身自体は、時代が変わっても今でも十分に活用できるものというふうに考えてございますので、こちらお示しのように、基本的には、現状の内容、新しい指導要領等の整合性を図るという目的で整理をしたいというふうに考えてございます。 3番でございますけれども、今年度後半から1年半のスパンの中で検討を進め、来年度末でございます、策定をしたいというものでございます。 検討体制、4番のとおり考えてございます。 すいません、ちょっと資料ないんですけれども、今後の交流事業というところで、ちょっと簡潔にご説明をさせていただきたいと思っております。 保幼小の交流というところで申しますと、幼児教育施設、今現在、区内で117ございます。 このうちの3割が今、学校と交流ができていないという現状でございます。 教育委員会としては、この交流ができていない園、何とか交流につなげたいというふうに考えてございまして、新たな取組を始めたいというふうに考えてございます。 1つの学校を、小学校を核として、そこに複数の園で構成するブロックをつくりたいというふうに思っております。 ですので、最終的には33ブロックをつくりたいというふうに思っていますが、今年度は、そのうちの5つのブロックでモデル的な実施、取組をしたいというものでございます。 何かと申しますと、学校とそれからその複数の園のうち1園が取りまとめ園となって学校と連絡調整をするというような仕組みでございます。 なぜかと申しますと、この交流の中で、受け入れる学校にとっては、いろいろな園からいろいろな連絡、随時入りますとかなり負担だというようなお声も聞いておるところでございますので、そうした負担を解消しつつ、まあ、交流を進めたいというような中で、今回、モデル実施ブロック制、5つのブロックで進めるというところでございます。 交流の中身自体は、基本的にはこれまでと大きく変わるものではございません。交流の窓口を設定するというものでございます。 以上、報告とさせていただきます。</p>
<p>福田教育長</p>	<p>ご説明ありがとうございました。 では、本件についてのご質疑、またはご意見はございますか。</p>

高橋委員	<p>ご丁寧なご説明ありがとうございます。</p> <p>1つ質問をしたいと思います。</p> <p>平成25年に、策定時と現在で、GIGAスクール構想など、ICT活用が劇的に変わっていると思います。</p> <p>保幼小の連携において、デジタルツールの活用、情報の共有などは、今回の検討項目には含まれておりますでしょうか。よろしくをお願いします。</p>
教育政策課長	<p>取組の中で、直接ICTについて何かうたうというところは、現時点では想定をしていないところでございますけれども、いろいろな取組の中で、そうした視点があってもいいだろうというふうに思っておりますので、そういったことも含めて検討したいと考えてございます。</p> <p>すいません、今現在、想定しているものはないというところでございます。</p>
福田教育長	高橋委員、よろしいですか。
高橋委員	はい、よろしいです。
福田教育長	ありがとうございます。では、ほかの委員の方々。
本間委員	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>2点、教えていただきたいことと、あと後ほどということで、まず学識経験者2名というふうにございますが、どういった方が決まっておられましたら教えてください。</p> <p>もう1点は、今後の進展の中でということで、従前からもう決着がついていることではあるんですけども、3歳児の対象を公立のほうでは今、外している状態で、それは私立のほうのお考えに基づくものというような、ざっと言うとそのような認識でいるんですけども、当然、今回の検討の中で、いろいろな接続をしていく上で、3歳児の問題というものも出てくるかというふうに思います。</p> <p>そのことがまた新たに、公立のほうで受入れ云々ということが組上に上がることはないだろうというふうには推測しますけれども、実際のその指導内容、保育内容において、その辺りの扱いがどのようになっていくのかは大変興味深く思っているところですので、随時、検討途中であっても教えていただけたらありがたいというふうに思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
教育政策課長	<p>まず、学識経験者でございますけれども、やはり北区の実情、よく把握されている、理解されている方をお願いをしたいというふうに思っておりますので、これまでのきらきら0年生の取組の中でお世話になっている方をお願いをしたいというふうに考えているところでございます。</p> <p>それから、3歳児の関係でございますけれども、これから検討を進めていく中で、現場の先生方のご意見、これも聞いてまいるといような状況でございますので、今、本間委員おっしゃったような内容も機会を捉えて意見を伺っていきたいというふうに考えてございます。</p> <p>以上でございます。</p>
福田教育長	ありがとうございます。よろしいでしょうか。
本間委員	はい。
福田教育長	ほかの委員の方々はいかがですか。

高橋委員	<p>改定検討会についてお尋ねしたいと思います。</p> <p>改定検討会には、園長や校長先生などが含まれておりますが、実際に、日々子供たちに接している中堅の教職員や小学校入学に不安を感じる保護者の意見などは、どのように吸い上げていく予定でしょうか。よろしく願いいたします。</p>
教育政策課長	<p>検討会自体には、それぞれの施設の代表者に加わっていただいて、構成をして検討を進めていくというふうに考えてございます。</p> <p>今回、カリキュラムを含めて具体的な中身、週案含めてですけれども、そういった検討を一からするという事は想定していないという中で、今施設長さんに構成をしていただくということにはなっておりますが、当然、現場の実践の場でいろいろ活躍されている先生方のご意見というところは吸い上げなきゃいけないというふうに考えてございますので、これは様々な機会、それから私どものきらきらの先生方を通じてでありますとか、それぞれの施設長さんを通じてでありますとか、意見を吸い上げる機会を設けていきたいなというふうに捉えてございます。</p> <p>それから、最終的な策定、素案ができた段階では、それぞれの会に出向きまして、いろいろな意見を吸い上げていきたいなというところでございますし、含めまして、保護者の意見も吸い上げる仕組み、これを確保していきたいなというふうに考えてございます。</p>
教育政策課長	<p>ありがとうございました。高橋委員、よろしいですか。</p>
高橋委員	<p>はい。</p>
福田教育長	<p>ありがとうございます。ほかの委員の方々はいかがですか。</p>
長谷川委員	<p>長谷川でございます。ちょっと単純な質問で大変申し訳ないんですが、そのブロックの中で、保幼小一緒に活動することになると思うんですが、例えば、幼稚園や保育園の園児が小学校に行って活動するというようなことを、ちょっと私の頭の中では想定したんですけども、その際、移動手段で、幼稚園の先生が引率して移動できる範疇の中のブロックの活動なのかあるいは幼稚園なんか持っているバスですかね、園バスみたいなもので小学校に通ってくることを想定されているのか、その辺のところを教えてくださいなと思います。</p>
教育政策課長	<p>現状、交流7割方実施をしているというところでございます。実績を振り返りますと、小学校近いところと交流しているというところがほとんどでございます。</p> <p>ただ、これまでの交流の積み重ね、歴史の中で少し離れたところの学校と園が交流しているというところもございまして、大体は近くの学校と園が交流をしているというところでございます。</p> <p>必ずしも学区というところではございませんけれども、近くの学校、園が交流しているというところなので、移動の負担というところを何か課題があるというふうなところで意見を聞いたというところはございません。</p> <p>それから、ブロックを組むに当たって、どういうふうな構成にするかというところで、北区としてはファミリー単位というところも重々に考えたいところなんですけれども、各園が既にいろいろな交流を、その小学校といろいろなご努力の中で重ねているというところもありますので、いったんは、これまでの実績、これを尊重せざるを得ないかなというふうなところで、今時点では考えているというところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>

長谷川委員	ありがとうございました。
福田教育長	ありがとうございます。ほかの委員はよろしいですか。  (質疑・意見なし)
福田教育長	では、ご質疑、ご意見がないようですので、ここで本件に関するご報告を終了いたします。ありがとうございました。 続いて、報告事項です。 日程第2、報告第17号「コミュニティ・スクールの推進について」です。 生涯学習・学校地域連携課長から説明をお願いします。
生涯学習・学校地域連携課長	報告第17号「コミュニティ・スクールの推進について」ご報告させていただきます。 1番、要旨です。 北区教育ビジョン2024の重点事業である「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」について、令和8年度から新たに、岩淵小学校、滝野川第二小学校でコミュニティ・スクールを導入いたしました。 2校追加したことによりまして、現在小学校7校と義務教育学校「都の北学園」の計8校でコミュニティ・スクールを導入しております。 まず、1つ目の報告といたしまして、コミュニティ・スクールの理解を深めるとともに、各校の情報交換及び活動の推進を図ることを目的に、7月に連絡協議会を開催いたします。 こちらには記載はございませんが、7月24日金曜日、午後2時から北とぴあカナリアホールにて予定をしております。 教育委員の皆様にも後ほど出席についてご案内を送らせていただきますので、よろしく願いいたします。 続いて、また、以降に記載の2点目の報告でございます。 3月4日の定例会議でご報告しましたとおり、令和10年度までに区立学校の40%以上にコミュニティ・スクールを導入することを目指しております。 このため、令和9年度から導入を開始する学校、5校を予定しておりますが、こちらを検討するため、各校への移行調査やヒアリング調査を実施をしております。 2番、今後の予定については、記載のとおりでございます。 新規導入校については、当課と教育指導課において伴走支援を行うなど、地域の特色を生かした学校運営協議会となるよう支援を行ってまいります。 私からの報告は、以上です。
福田教育長	ありがとうございました。では、本件についてのご質疑、ご意見はございますか。
高橋委員	丁寧なご説明ありがとうございました。令和10年度までに40%の目標を達成ということなんですけども、教育委員になってまだ半年で、この40%達成に対しての分母となる学校数がちょっとよく分からないものですから、この40%、学校数でいうと何校に当たるのかを教えてくださいたいということと、あと令和9年度に5校ですか、コミュニティ・スクールということなんですけども、具体的にその5校っていうのはある程度、もう今現在決まっているのか、これから選定して5校を選んでいくのか、その辺のところを教えてくださいたいと思います。 そして、令和8年4月からコミュニティ・スクールになりました滝野川第二小学校ですけども、来月6月6日土曜日に講演会をお願いされましたので、無償で行ってまいりますので、福田教育長先生、よろしければお聞きに来ていただけるととってもうれしいです。よろしく願いいたします。

生涯学習・学校地域連携課長	<p>ご質問ありがとうございます。まず、令和10年度までに40%というところですが、北区の場合、18校に導入をすると40%を満たすというところでございます。そのため、計画上では、現在8校ですので、不足するのが10校ということで、令和9年度、令和10年度にそれぞれ5校ずつ増やすというところで、今、目標を設定をしております。</p> <p>それから、令和9年度以降に導入する学校の目星はついているかというご質問でございますけれども、昨年度、導入について調査を各学校に行ったところ、令和9年度以降に導入したいという希望を出してくださった学校が現在9校ございます。</p> <p>ただ一方で、校長先生の人事異動等もございましたので、また改めて全校に向けて希望調査を行いたいなというふうに考えてございます。</p> <p>また、希望していただいた学校の中から、どこをコミュニティ・スクールを導入していくかというところ、CSマスターの福田教育長のご助言も頂きながら、例えばですが、スクールコーディネーターさんがしっかりと機能していたり、担い手となる地域人材がいるような学校であったりとか、導入がしやすいと言うとちょっと語弊がありますが、導入に向けた支援等どのように行っていくかというところも検討しながら、導入する学校については選定を進めていきたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
福田教育長	<p>学校数も多分、お聞きになったと思うんですけども、学校数も。現在の、お願いします。</p>
生涯学習・学校地域連携課長	<p>44校になります。</p>
高橋委員	<p>44。</p>
福田教育長	<p>内訳を一応。</p>
高橋委員	<p>44の40%の18。</p>
生涯学習・学校地域連携課長	<p>小学校が32校、中学校が11校、義務教育が1校でございます。</p>
福田教育長	<p>32ですね。32。11、1ですね。ではよろしいですか。ほかにご質問、ご意見ございますか。</p>
本間委員	<p>コミュニティ・スクールの始まった頃から比べると、コミュニティ・スクールっていうことに対する捉え方がより深まってきているということを感じています。</p> <p>ただ、学校関係者についてはそうだと思うのですが、なかなか地域の方々にとって、北区にとってのコミュニティ・スクールといったものの浸透というのは、まだ不十分な点もあるのかなあというふうに思っています。</p> <p>その点を学校サイドだけではなくて、教育委員会として学校をサポートする中の一環で、地域の方への浸透の仕方というんでしょうか、そういったことについては、どのようなことを考えられていらっしゃるか教えてください。</p>
生涯学習・学校地域連携課長	<p>ご質問ありがとうございます。コミュニティ・スクール運営していく中で、地域の方々に入ってきて、議論に加わっていただいているという中で、本当に地域の方はキー</p>

携課長	<p>パーソンだなというふうに感じております。</p> <p>その中で、やはり主となってくのが、例えばスクールコーディネーターさんであったり、青少年地区委員会の方であったり、こういった地域の方々に向けて、教育長をサブスクのように活用してしまっていて大変恐縮なんですけれども、教育長に様々な場面で、スクールコーディネーター研修や地区委員会の研修などで、コミュニティ・スクールであったり、地域とその学校の関わりというところをお話を頂いておまして、地域の方の中でも、コミスクにうちの学校をしてくれないのっていうのを地域のほうからお話を頂く場面もかなり増えてきたなあというふうに感じております。</p> <p>そういったところで、コミスクが入るとどうなるかというところも地域の方に丁寧にお伝えしながら、導入促進に向けて動いていきたいなというふうに思っております。</p> <p>以上です。</p>
福田教育長	ありがとうございます。よろしいですか。
本間委員	はい。
福田教育長	ほかございますか。
川染委員	<p>川染です。よろしくお願ひします。連絡協議会について、今決まっている範囲で構いませんので、私もちょっと予定を見て参加させていただこうかと思うんですけど、多分、学校関係者、コミュニティ・スクールを9年度、10年度、考えていらっしゃるような学校は参加されると思うんですけど、例えば先ほどの地域の方とか、そういったお声がけとか、その辺の範囲はどういった今、計画になっているか教えてください。</p>
生涯学習・学校地域連携携課長	<p>7月に行います連絡協議会ですけれども、基本的には、地域の方はこの協議会のほうにはお呼びはしない予定でございまして、学校長に向けて案内はしますけれども、コミュニティ・スクール運営していく中で、副校長先生のお力であったり、主任の先生のお力というの必要になってきますので、学校長の判断で出席する方はご選定を頂きたいなというふうに思っております。</p> <p>その中でプログラムとしては、教育長にまずご講義を頂きたいなというふうに考えておまして、プラス現在導入している学校、今こんな取組をしているよとか、コミュニティ・スクール導入したことで、熟議によってこういった議論が生まれて、こういった動きができたよとか、そういった事例なども共有していただくことで、今後導入をしてみようという思う学校を増やしていきたいなというふうに思っております。</p> <p>以上です。</p>
川染委員	ありがとうございます。基本的には、じゃあ、学校関係者だけという形ですか。分かりました。
福田教育長	ありがとうございます。ほかに。
宮川委員	<p>ご説明ありがとうございます。</p> <p>1点だけ。</p> <p>地域の方もやはり大変人材面ですとか、いろいろな情報など、たくさんお持ちなことが多いので、以前からスクールコーディネーターの方たちがそういう地域の方たちにいるいろいろな情報も差し上げているところがございますけども、ちょうどコロナの頃から毎回、回覧板で回っていた広報紙、エールが配付できなくなったり、または町会のほうの掲示もなくなっているということも現実ありまして、最近、逆に言いますと、t e t o r uのほうで配信とか、携帯でも見られますよという、保護者の方向けには大変それ</p>

<p>生涯学習・ 学校地域連 携課長</p>	<p>は充実してきていると感じております。</p> <p>ただ、やはり地域の方にも何らかの形で、こういう情報を差し上げられたらいいなあというふうに思うんです。というのは、以前、私スクールコーディネーターをやっていたときのそのエールという広報紙なんですが、やはり地域に回覧することによって、これはどこで手に入るんですかとか、欲しいですと、我が家に一部欲しいですとか、結構そういう声が多いときがございましたので、やはり地域の方への広報、告知というか、そういうところを少し考えていただければいいなど。</p> <p>もしかしたら各地域、各町会っていうのは春に総会があるんですけど、先日私の地元の総会もございましたけど、大変たくさんの方が集まってきておりますので、ぜひそういうところでお知らせできるような何か工夫ができたならなあとかちょっと思いましたので、ぜひその辺をよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>エールの配付のところなんですけども、今年度から t e t o r u での配信も行いまして、スクールコーディネーターの連絡協議会のほうで非常にご苦勞いただいとていいますか、スマホでも見やすいような形での紙面というのをづくりにも取り組んでいただいたところなんです。</p> <p>やはり、どうしても紙の配付というのが減ってくる中で、そういった取組で、しっかり地域の人一人一人に届くというのも大切なあとと思ひているところではありますけど、一方で、やっぱり高齢の方とか紙で回ってきて初めてそれを目にしてという方も多いかなというふうに思ひております。</p> <p>紙の配付、完全に取りやめるのではなくて、地域の町会長さんのところであつたりとか、地区委員会の委員長さんのところには届くようにというところで手配のほうも進めておりますので、そういったところからご要望があれば、総会等にもお配りできるような体制にしていきたいと思ひておりまあす。</p> <p>以上です。</p>
<p>福田教育長</p>	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。</p>
<p>宮川委員</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p>
<p>福田教育長</p>	<p>ほかはよろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
<p>福田教育長</p>	<p>では、ご質疑、ご意見がないようですので、ここで本件に関する報告を終了といたします。ありがとうございました。</p> <p>以上で、本日の日程、全て終了いたしました。</p> <p>これをもちまして、令和8年第4回教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>